



羅針盤 R8(2026)-No.7 玉小タイム 言語活動 10分間チャレンジ



学校は失敗するところ！ 教室は間違えるところ！ 授業は子供が主人公！
誰一人取り残さない！ 子供の成長を教育活動の、ど真ん中におく！
One for all. All for one. One team. チーム玉小川

令和 8年 5月 22日(金)
昭島市立玉川小学校
校長 小瀬 和彦

課題：「目的や意図に応じて文章から論旨（結論・理由・根拠・道筋）を読み取り、『話したり・聞いたり』することによって確実に読み解き、論旨に対する自分の考えを『書くこと』により説明し、自分の考えを深め、拡げること」に課題がある。
(R6・7年度 全国学力・学習状況調査における分析結果より)

「玉小タイム 言語活動 10分間チャレンジ」指導過程

◇第1部

〈指導論理〉

① 〈黙読タイム〉すばやく全文を黙読する。 ⇒話の全体像（構造と内容の把握）を捉える。	2分「読むこと」 〈I①〉
② 〈微音読タイム〉微音読（自分だけに声が聴こえるような大きさ）で全文を音読する。 ⇒要旨（あらすじ、最も大切な部分・筆者の主張）を捉える。	2分「読むこと」 〈I②〉
③ 〈要旨書込みタイム〉要点をおさえ、「②」で捉えた要旨をワークシートに書き込む。※自宅で修正・加筆・改善してよい。	6分「書くこと」 〈II①〉

◇第2部

④ 〈微音読タイム②〉微音読で全文を読み、修正・改善を図る。 ⇒全文を微音読し、精査・解釈を深める（「③」の修正・改善を図る）。	2分「読むこと」 〈I③〉
⑤ 〈学び合いタイム①〉「④」を発表⇒コメント（評価）をし合う。 ⇒「よさ」や「課題」を伝える。	5分「話す・聞くこと」 〈I④III①〉
⑥ 〈論旨修正・改善タイム〉「⑤」を活かして精査・解釈を深める。	3分「書くこと」 〈II②〉

◇第3部

⑦ 〈微音読タイム③〉微音読で全文を読み、自分の考えを形成する。 ⇒全文を微音読し、自分の考えをつくる。	2分「読むこと」 〈I③〉
⑧ 〈自分の考え表現タイム〉「⑦」をもとに、自分の考えを表現する。 ⇒論旨を基に、自分の考えを書く。	2分「書くこと」 〈II②〉
⑨ 〈学び合いタイム②〉「⑧」を発表⇒コメント（評価）をし合う。 ⇒「よさ」や「課題」を伝える。	3分「話す・聞くこと」 〈III②③〉
⑩ 〈自分の考え改善タイム〉「⑧」をもとに、自分の考えを深め拡げる。 ⇒「自分の考え」を簡潔にまとめる。	3分「書くこと」 〈II③〉

◇第4部

⑪ 〈学び合いタイム③〉「⑩」を発表⇒コメント（評価）をし合う。 ⇒「よさ」や「課題」を伝える。	5分「話す・聞くこと」 〈I④III④〉
⑫ 同じ週内の「帰りの会」等の時間で第1部から第3部までの「振り返り」（「自分の変化・成長等」）を行い（セルフ・モニタリング、セルフ・コントロール）、ワークシートに記入させること。	3分 「メタ認知」

○ 指導原理

- 1 指導に当たって、「完成」・「完全」・「正解」を求めない。
- 2 時間を厳守する（集中力・思考力・判断力・表現力等を育むため）。
- 3 指導論理（次頁）にしたがって、指導・助言する。

I 読むこと

- ① 構造と内容の把握：叙述を基に、文章の構成や展開を捉えたり、内容を理解したりすること。
 - ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉えること。
 - イ 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉えること。
 - ウ 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。
- ② 精査・解釈：文章の内容や形式に着目して読み、目的に応じて必要な情報を見付けることや、書かれていること、あるいは書かれていないことについて、具体的に想像すること。
 - ア 文章の中の重要な語や文を見付け、選び出すこと。
 - イ 目的を意識して中心となる語や文を見付けて要約すること。
 - ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。
- ③ 考えの形成：文章の構造と内容を捉え、精査・解釈することを通して理解したことに基づいて、自分の既有的知識や様々な体験と結び付けて感想をもったり考えをまとめたりしていくこと。
 - ア 感想をもつこと。
 - イ 感想や考えをもつこと。
 - ウ 自分の考えをまとめること。
- ④ 共有：文章を読んで形成してきた自分の考えを表現し、互いの考えを認め合ったり、比較して違いに気付いたりすることを通して、自分の考えを深め拡げていくこと。
 - ア 感じたことや分かったことを共有すること。
 - イ 感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。
 - ウ 自分でまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを深め拡げること。

II 書くこと

- ① 構成の検討：自分の思いや考えが明確になるよう文章の構成を考えること。
 - ア 事柄の順序（時間・〈始め - 中 - 終わり〉等の順序）に沿って書く。
 - イ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係（考えとそれを支える理由、考えと具体的事例）に注意したりして文章の構成を考えて書く。
 - ウ 筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開（序論 - 本論 - 結論、* 頭括型・尾括型・総括型）を考えて書く。 * 結論の位置
- ② 考えの形成、記述：自分の考えを明確にし、書き表し方（文末表現、敬体か常体、接続詞等）を工夫すること。
 - ア 語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書く。
 - イ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書く。
 - ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたり、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして自分の考えが伝わるように書く。
- ③ 推敲：記述した文章を読み返し、構成や書き表し方などに着目して文や文章を整えること。
 - ア 文章を読み返し、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりする。
 - イ 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりする。
 - ウ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して文や文章を整える。

III 話すこと・聞くこと

- ① 構成の検討・考えの形成（話すこと）
 - ア 事柄の順序（時間・〈始め - 中 - 終わり〉等の順序）を考えて構成する。
 - イ 理由や事例を挙げながら、話の中心が明確になるよう構成する。
 - ウ 事実と感想、意見とを区別して構成する。
- ② 表現・共有：音声表現：適切に内容を伝えるために音声表現を工夫したり資料を活用したりしている。
- ③ 構造と内容把握、精査・解釈、考えの形成・共有（聞くこと）：話し手が伝えたいことと、自分が聞く必要のあることの両面を意識しながら聞き、感想や考えをもつこと。
- ④ 話し合いの進め方の検討・考えの形成・共有（話し合うこと）：進行を意識して話し合い、互いの意見や考えなどを関わらせ（比較・関連付け）ながら、考えをまとめたり拡げたりすること。